

## 豊中における安心生活創造事業の概要

～都市部における地域活動・有償活動・事業所による見守りの総合的な展開～

社会福祉法人豊中市社会福祉協議会

地域福祉課長 勝部麗子

はじめに

### 1, 豊中の概況

人口	394,386
高齢化率	167,162
自治会平均加入率	47.4%
一人暮らし高齢者登録	5202
校区見守り世帯数	10000 世帯

### 2, 豊中市社会福祉協議会の概況

#### (1)経過

昭和 58 年	法人化
昭和 62 年	賛助会費制導入
昭和 63 年	福祉の町づくり講座・給食サービス実施
平成 4 年	校区ボランティア部会
平成 7 年	阪神淡路大震災
平成 8 年	小地域福祉ネットワーク事業スタート
平成 9 年	ふれあいの町づくり事業指定
平成 10 年	小地域福祉ネットワーク事業が大阪府の事業に
平成 15 年	市と協働で地域福祉計画策定開始 全校区で校区福祉検討会
平成 16 年	地域福祉計画策定・地域福祉活動計画策定

福祉なんでも相談窓口&コミュニティソーシャルワーカー配置

#### (2) 一人暮らし高齢者を支える従来の地域福祉活動

- ① 校区福祉委員会 38 校区
  - 小地域福祉ネットワーク活動 見守り・声掛け・個別支援、福祉なんでも相談会食会、ふれあいサロン、ミニデイ
  - 重度障害者等安否確認事業 5978 世帯
  - ひとり暮らし老人の会の支援
- ② 当事者の組織化
  - ひとり暮らし老人の会 37 校区
  - 会員同士の助け合い ブロック活動、お元気コール シングル作品展 お誕生会
- ③ ボランティアセンター
  - 友愛電話訪問 月 1 回 電話による
  - 個別支援 話し相手、外出支援、家のかたづけ、
- ④ 有償サービス
  - 生活支援サービス、介護保険サービス、NPO などによる支援
- ⑤ 民生委員による一人暮らしの登録 見守り活動
- ⑥ その他 貸付、相談事業、介護相談員派遣事業 などなど

## (2) 校区福祉委員会の変遷

### 38 校区福祉委員会

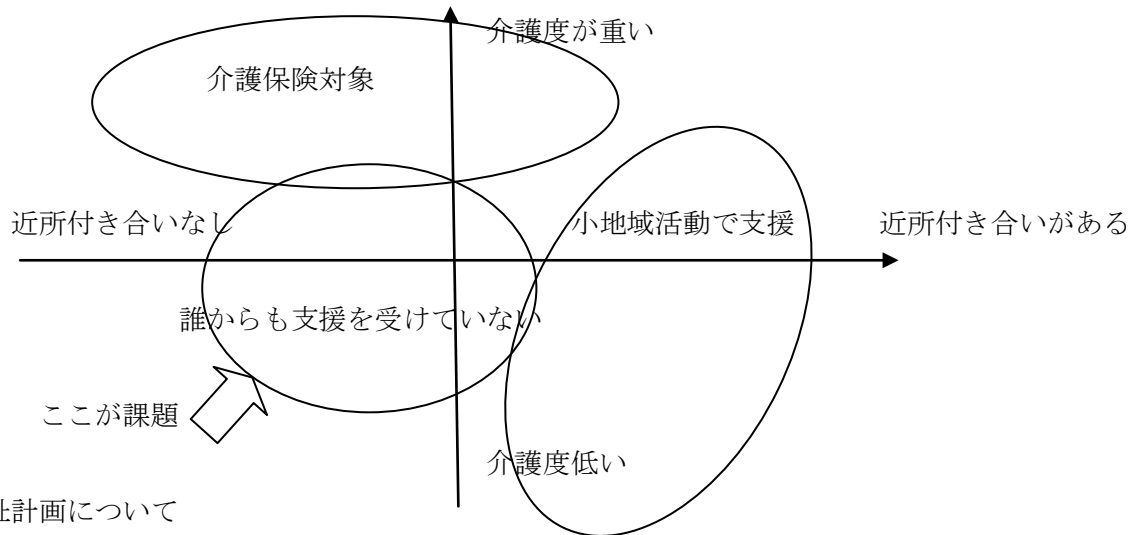
ボランティア部会の組織化

小地域福祉ネットワークを全校区で実施 地域ミニマムを確立

福祉なんでも相談窓口は地域ニーズの把握

地域福祉計画で配置されたコミュニティソーシャルワーカーが公民をつなぐ

## 3、地域での一人暮らしの要援護者の把握



## 4、地域福祉計画について

地域福祉拠点

身近な地域の相談窓口

行政と市民と事業者のパートナーシップ 市職員研修、新任教員研修、ライフプラン研修など

## 5、ライフセーフティネットの仕組み

### 1) コミュニティソーシャルワーカーの配置

小学校区の活動をベースに市内生活圏域 7 圏域に 2 名配置(大阪府の事業は中学校区)

地域支援保育士、地域包括支援センター、保健師などとのチームアプローチ

社会福祉士(大阪府の専門養成研修)

狭間の課題を校区のネットワーク力を背景にチームワークで支える

### 2) 福祉なんでも相談窓口 小学校区福祉委員会に一つ身近な地域の相談窓口 予防的なニーズキャッチ

### 3) 地域福祉ネットワーク会議 圏域内の事業所、専門職、民生委員校区福祉委員が一堂に会する

### 4) ライフセーフティネット総合調整会議 市全域 …システム図参照

## 6、公民協働の支援ネットワークで支えるCSW事例

### 1) 行政サービスに結びつかないケースの掘り起こし…ひきこもり

サービス拒否 判断能力の乏しい人、

### 2) フォーマルサービス、インフォーマルサポートで支える

### 3) 地域事業につなぐ(地域移行、社会的孤立)

## 7、個別支援から町づくりの課題を仕組みへの具体的なプロジェクト

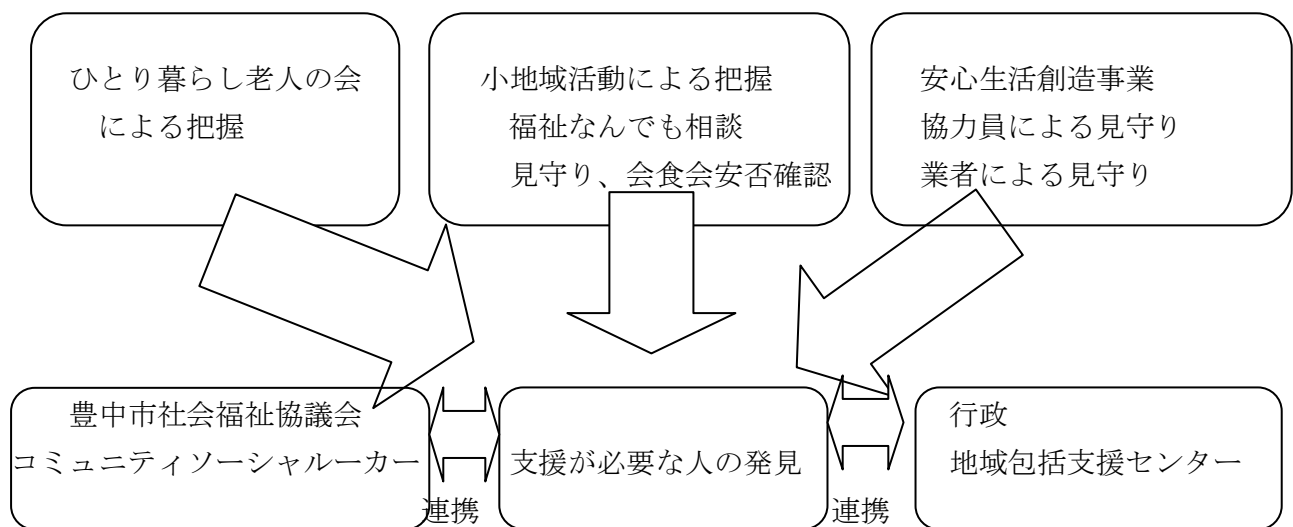
徘徊 SOS メール

ごみ屋敷リセットプロジェクト

悪質リフォーム対策会議

男性介護者交流の集い  
 若い介護者の集い  
 校区単位の車イスの貸し出し  
 ちょボラサロン  
 高次脳機能障害家族交流会  
 ケアマネジャーと地域活動連携の為のガイドライン  
 ひとり暮らし高齢者支援方策検討委員会  
     75才以上のひとり暮らし高齢者アンケート 8000人アンケート  
 広汎性発達障害家族交流会  
 小地域活動次世代人材養成プロジェクト  
 権利擁護センターアクションプラン などなど

## 8、安心生活創造事業の挑戦



- 1) 安心生活創造事業推進委員会設置
- 2) ひとり暮らしアンケート調査 7000人  
地域活動とニーズ把握と安心協力員希望者につなぐ
- 3) 安心協力員養成研修 185人
- 4) 校区福祉委員会での問題把握・解決 福祉なんでも相談に年間 500件 CSWで2000件
- 5) 安心協力員派遣サービス…有償サービス…新たなつながりの再構築  
利用者の声
- 6) ひとり暮らし応援事業所ネットワーク…消費生活での新しいニーズ把握の仕組み  
ステッカー、募金箱、買い物の支援リスト化
- 7) 安心生活創造事業シンボルマーク

## 9、今後の課題

- 1) 全市展開への希望
- 2) 第4のポケット 遠距離介護、安定財源
- 3) 買い物支援の仕組みづくり 応援事業所リスト
- 4) 無縁社会への対応…保証人、緊急連絡先、後見人
- 5) 権利擁護の連続性 エンディングノートから安心協力員、法人後見まで…

